

資料提供年月日	平成27年3月24日	
問い合わせ先	課名	医療政策推進課
	電話	直通 803-1638 内線 3950
担当者	職名・氏名	課長 福井
	職名・氏名	主任 守安

## 広 報 連 絡

〈市長定例記者会見資料〉

### 1 件 名

総合特区デイサービス改善インセンティブ事業について

### 2 内 容

岡山市では、介護サービスの質を評価し、利用者の状態の維持・改善に積極的に努めている事業所へインセンティブを付与する事業を進めております。今年度の事業総括として下記のとおり説明会を開催致します。

○日時：平成27年3月25日（水）18時00分～（受付17:30～）

○場所：岡山ふれあいセンター 1階大ホール（岡山市中区桑野715-2）

○スケジュール：18:00～20:00 事業説明など

#### （1）デイサービス改善インセンティブ事業の事業報告

- ・平成26年度の指標達成事業所の発表
- ・平成27年度の評価指標（案）の発表

#### （2）兵庫県立大学大学院 筒井孝子教授による講演

「（仮）これからのデイサービスに求められること」

#### （3）指標達成事業所の取組紹介

### 3 備 考

事業スキームは別紙のとおり

# 平成26年度サービス改善インセンティブ事業スキーム

別紙1

H26.6

参加事業所  
への確認

市内サービス事業所に対し、事業への参加の有無を調査(任意参加)

評価対象事業所  
151/約290  
事業所

H27.2

指標による評価

評価指標のデータの  
収集

○平成26年6月調査実施  
(平成25年1~12月データ)

○平成27年1月調査実施  
(平成26年1~12月データ)

調査結果から、5つの評価指標のベンチマークの達成の可否状況で評価する

評価対象事業所のうち3つ以上の指標のベンチマークを達成  
= 指標達成事業所

H27.3

インセンティブ  
付与

指標達成事業所の公表  
指標達成事業所  
60事業所

	評価指標	ベンチマーク
1	外部研修への参加状況 (延べ人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
2	岡山市主催の研修会の参加回数	3回とも1人以上参加
3	認知症高齢者の受け入れ人数 (実人数/利用定員)	評価対象事業所の平均値以上
4	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上

# 平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業スキーム

別紙2

H27.6

参加事業所  
への確認

## 参加要件

- ① 評価指標のデータ(調査票)を提出すること

## 評価指標の収集

- 平成27年6月調査実施
- 平成28年1月調査実施

H28.2

指標による評価

調査結果から、評価指標のベンチマークの達成の可否状況で評価する

H28.3

アウトカム評価

指標達成事業所のうち、日常生活機能評価の維持・改善度で評価

H28.3

インセンティブ  
付与

アウトカム評価  
上位事業所

・奨励金

・指標達成事業  
所の公表

H27.8

② 日常生活機能評価を継続的に実施すること。

H28.2

日常生活機能評価

日常生活機能評価

日常生活機能評価表とは・・・

- 急性期病院や慢性期病院で使われている看護の業務量の多寡を評価する標準化された尺度であり、主に医療面の必要度を評価するA項目、患者の状況を評価するB項目からなる。

- 当該事業では、B項目(=日常生活機能評価表)をデイサービス用に衣替えし、活用する。

No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安眠の判断	なし	あり	2点
2	どちらかの手を指元まで押え上げられる	できる	できない	できない
3	振り返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	できない
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	全介助
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	全介助
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指図が通じる	はい	いいえ	できない
13	自衛行動	なし	あり	全介助

19点満点で合計点が低いほど、介助を要しない(=元気)。